

令和7年度自治会長アンケートの結果(ホームページ公開用)

○調査の概要

1 目的

自治会の実態を把握するためのデータ収集を行うこと、アンケート結果をもとに現行の仕組みの見直しを図ること、自治会カルテを作成するための基礎情報を収集すること、アンケート結果を自治会長の皆様へ配布し、概要版を美濃加茂市ホームページへ掲載することで、他自治会の事例を情報共有することを目的に令和7年度の自治会長を対象としたアンケート調査を実施しました。

2 実施日 令和7年12月～令和8年1月

3 回答結果 回答数128(総自治会数166) 回答率77.1%

問1:地区

地区別の回答数は以下のとおりです。

	太田	古井	山之上	蜂屋	加茂野	伊深	三和	下米田
回答数	30	40	4	13	16	6	3	16
割合	75.0%	81.6%	36.4%	68.4%	100%	75.0%	100%	80.0%

問3:年代

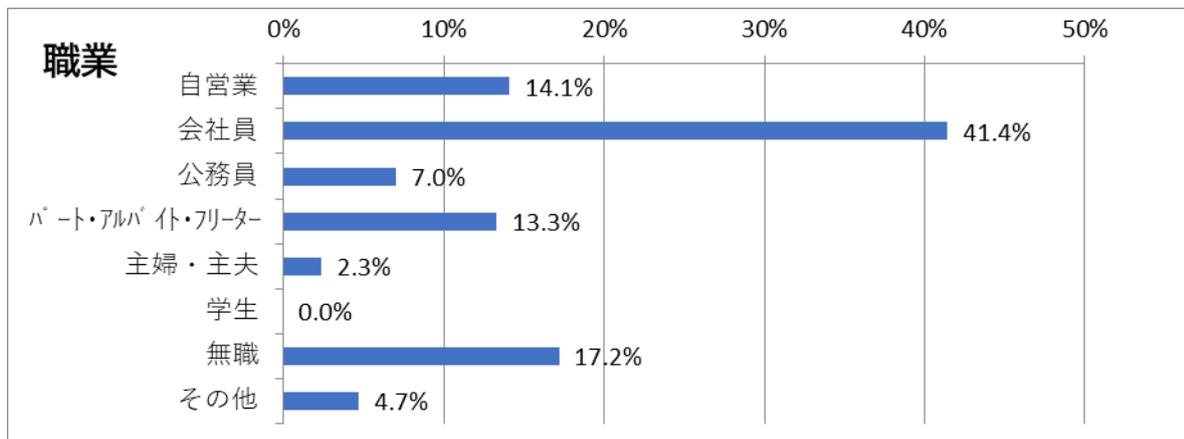
回答者の年代は以下のとおりです。「60歳代」の割合が最も高く53.1%でした。

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数	1	1	5	25	68	26	2
割合	0.8%	0.8%	3.9%	19.5%	53.1%	20.3%	1.6%

問4:職業

回答者の職業は以下のとおりです。「会社員」の割合が最も高く41.4%でした。

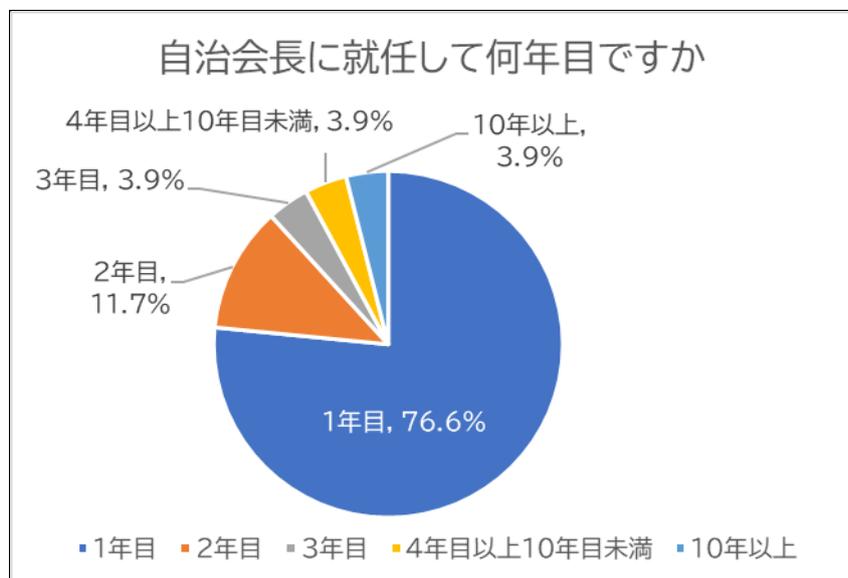
	自営業	会社員	公務員	パート・アルバイト・フリーター	家事に専念主婦(夫)	学生	無職	その他
回答数	18	53	9	17	3	0	22	6
割合	14.1%	41.4%	7.0%	13.3%	2.3%	0.0%	17.2%	4.7%



問5:自治会長に就任して、今年で何年目か(以前に就任していた時も含む。)

「1年目」の割合が最も高く76.6%でした。

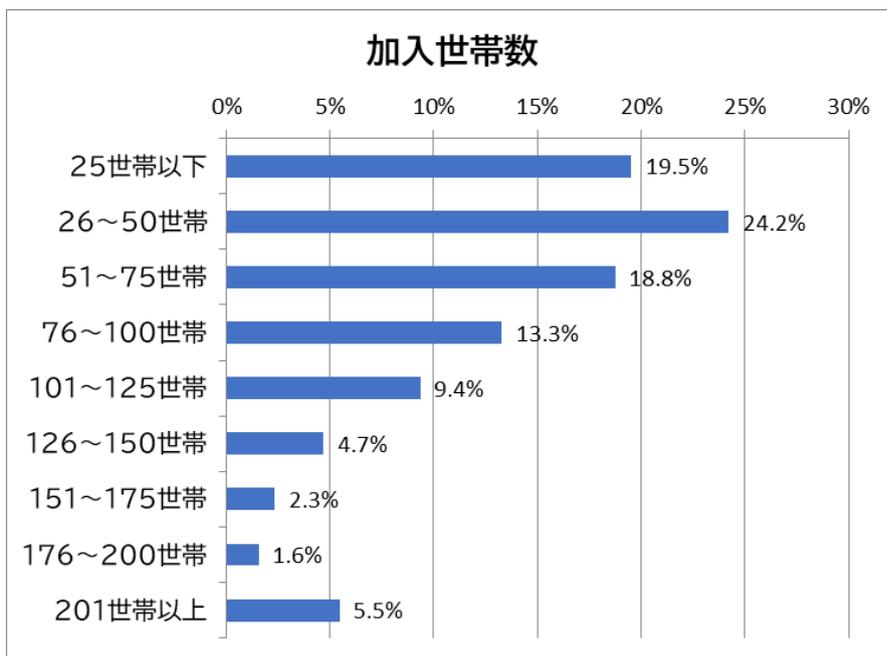
	1年目	2年目	3年目	4年目以上 10年目未満	10年目以上
回答数	98	15	5	5	5
割合	76.6%	11.7%	3.9%	3.9%	3.9%



問6:自治会の加入世帯数

自治会によって10世帯未満から700世帯超まで幅広く、26~50世帯が24.2%と最も多く、次いで25世帯以下が19.5%でした。

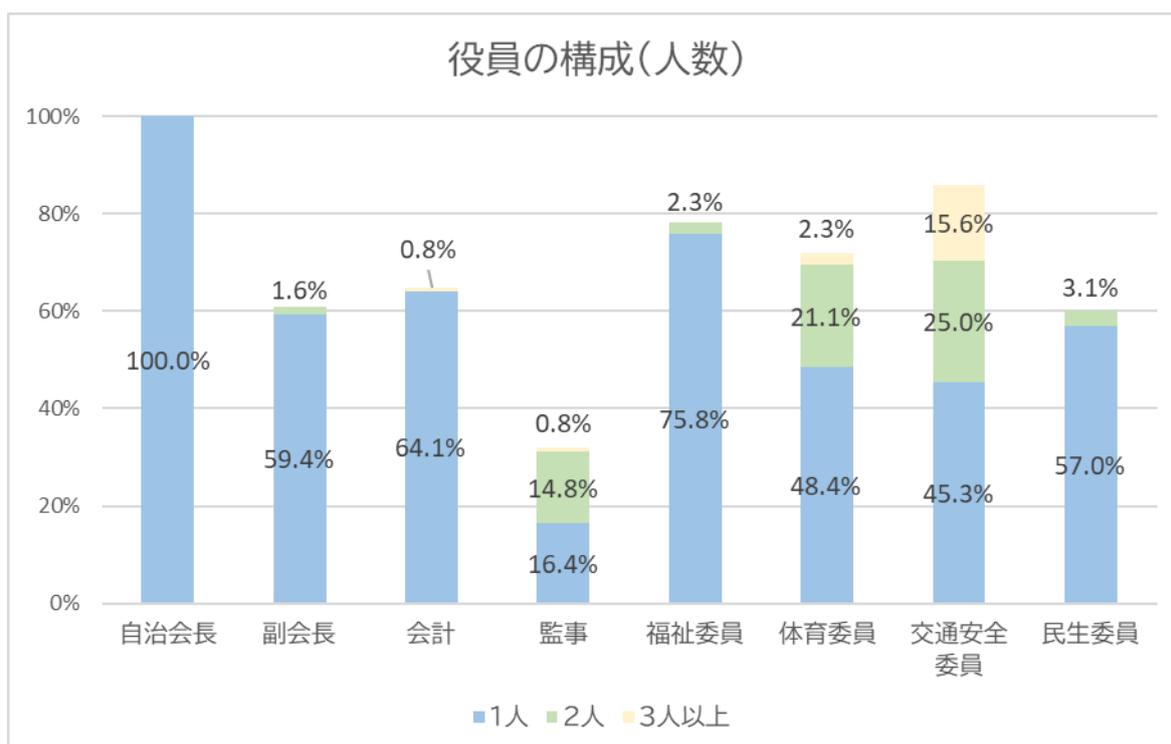
	25世帯以下	26~50世帯	51~75世帯	76~100世帯	101~125世帯	126~150世帯	151~175世帯	176~200世帯	201世帯以上	無回答
回答数	25	31	24	17	12	6	3	2	7	1
割合	19.5%	24.2%	18.8%	13.3%	9.4%	4.7%	2.3%	1.6%	5.5%	0.8%

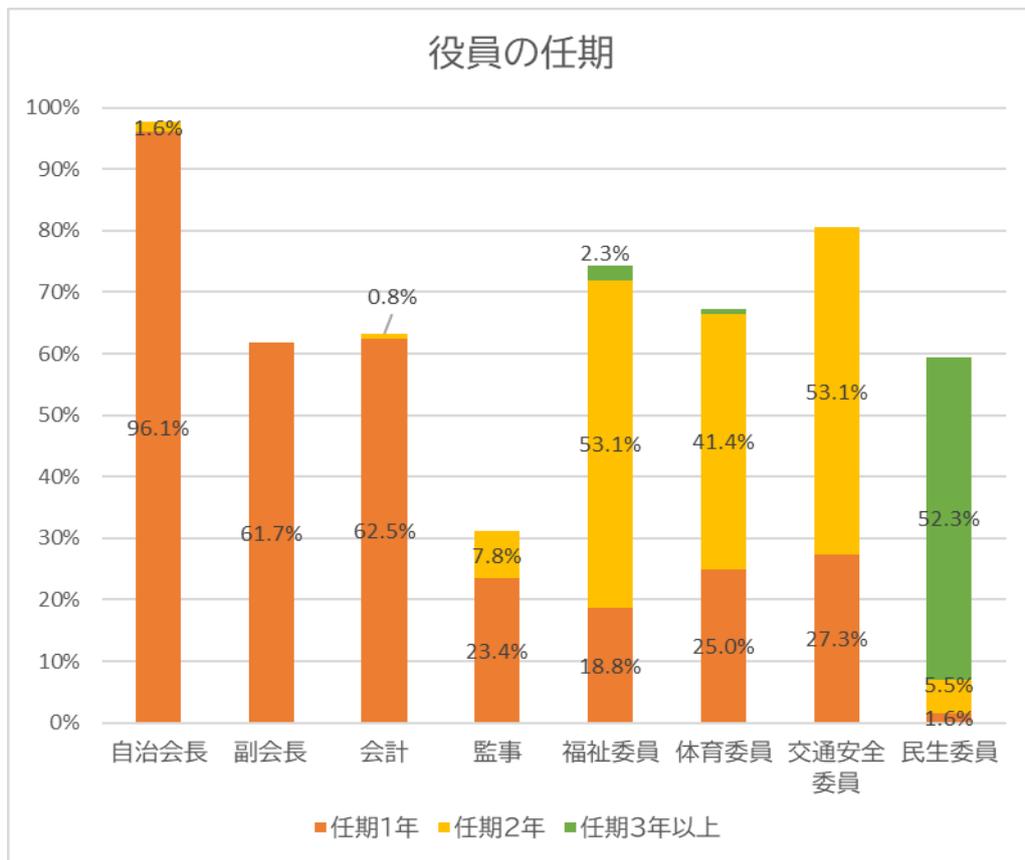


問7:役員構成及び任期

役員構成及び任期については、以下のとおりの回答がありました。

		自治会長	副会長	会計	監事	福祉委員	体育委員	交通安全委員	民生委員
1人	回答数	128	76	82	21	97	62	58	73
	割合	100.0%	59.4%	64.1%	16.4%	75.8%	48.4%	45.3%	57.0%
2人	回答数	0	2	0	19	3	27	32	4
	割合	0.0%	1.6%	0.0%	14.8%	2.3%	21.1%	25.0%	3.1%
3人以上	回答数	0	0	1	1	0	3	20	0
	割合	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%	2.3%	15.6%	0.0%
任期1年	回答数	123	79	80	30	24	32	35	2
	割合	96.1%	61.7%	62.5%	23.4%	18.8%	25.0%	27.3%	1.6%
任期2年	回答数	2	0	1	10	68	53	68	7
	割合	1.6%	0.0%	0.8%	7.8%	53.1%	41.4%	53.1%	5.5%
任期3年以上	回答数	0	0	0	0	3	1	0	67
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.8%	0.0%	52.3%



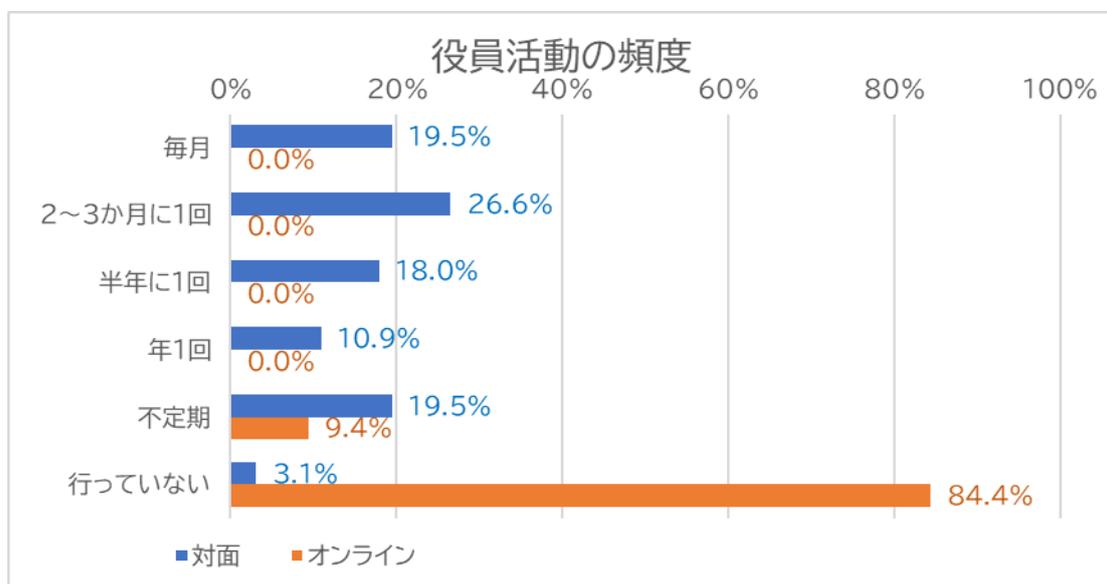


問8: 役員活動の頻度

役員活動の頻度は、以下のとおり回答がありました。

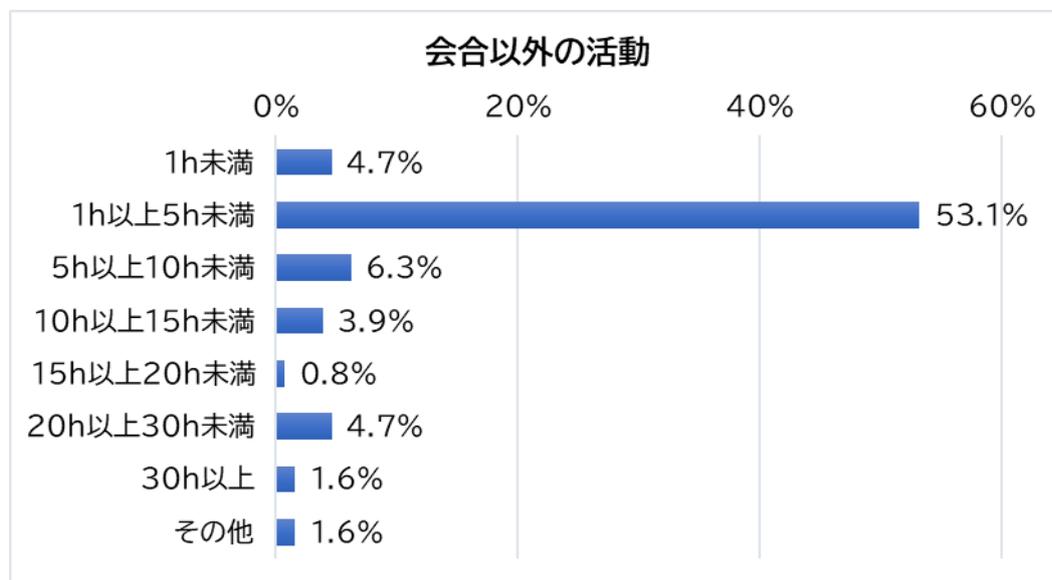
対面の会合については、2～3ヶ月が1回が多く、オンラインでの会合は行っていない自治会が大半でした。

		毎月	2～3か月に1回	半年に1回	年1回	不定期	行っていない	回答なし
		対面	回答数 25	34	23	14	25	4
	割合	19.5%	26.6%	18.0%	10.9%	19.5%	3.1%	2.3%
オンライン	回答数	0	0	0	0	12	108	8
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	84.4%	6.3%



1ヶ月の役員会合以外の活動時間は、以下のとおり回答がありました。

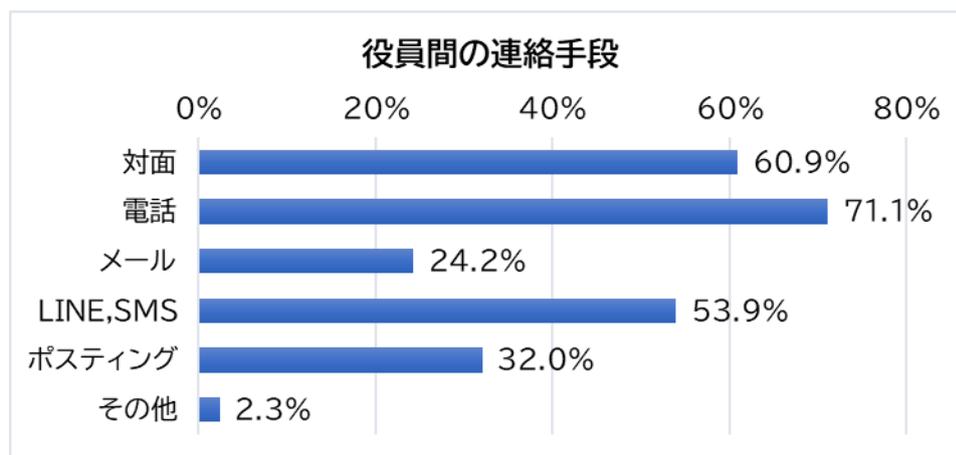
時間	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 15時間未満	15時間以上 20時間未満	20時間以上 30時間未満	30時間以上	その他 回答	回答 なし
回答数	6	68	8	5	1	6	2	2	30
割合	4.7%	53.1%	6.3%	3.9%	0.8%	4.7%	1.6%	1.6%	23.4%



問9:役員間の連絡手段について(複数回答可)

役員間の連絡手段は以下のとおりです。

	対面	電話	メール	LINE SMS	ポスティング	その他
回答数	78	91	31	69	41	3
割合	60.9%	71.1%	24.2%	53.9%	32.0%	2.3%



(その他の連絡手段)

・書面

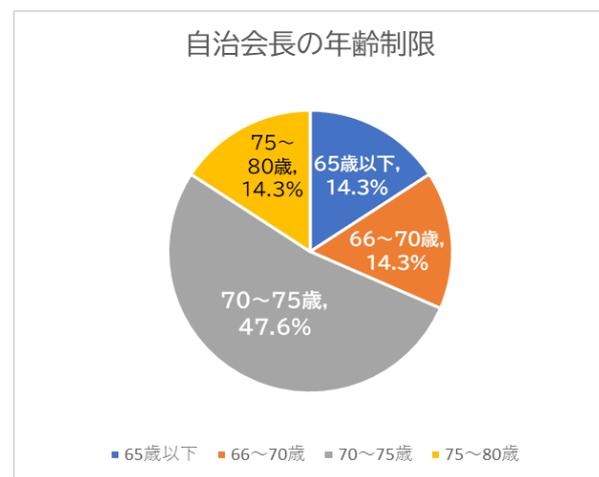
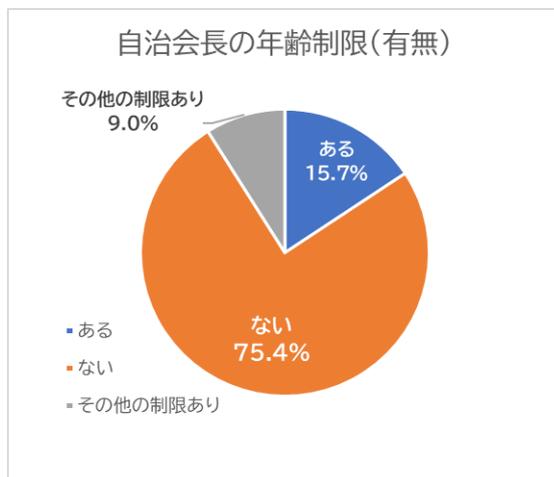
問10:自治会長の年齢制限について

自治会長の年齢制限については以下のとおりです。(複数回答可)

	ある	ない	その他の制限あり
回答数	21	101	12
割合	15.7%	75.4%	9.0%

自治会長の年齢制限については以下のとおりです。

	65歳以下	66～70歳	70～75歳	75～80歳	81歳以上
回答数	3	3	10	3	0
割合	14.3%	14.3%	47.6%	14.3%	0.0%



(その他の制限)

- ・75歳程度までとし、身体の状態、家庭の事情を考慮する。
- ・自治会加入歴10年以上が対象。消防団員・神社総代の経験者は免除する。
- ・概ね50歳を超えると対象となる。
- ・男性のみが対象。
- ・やる気のある人。

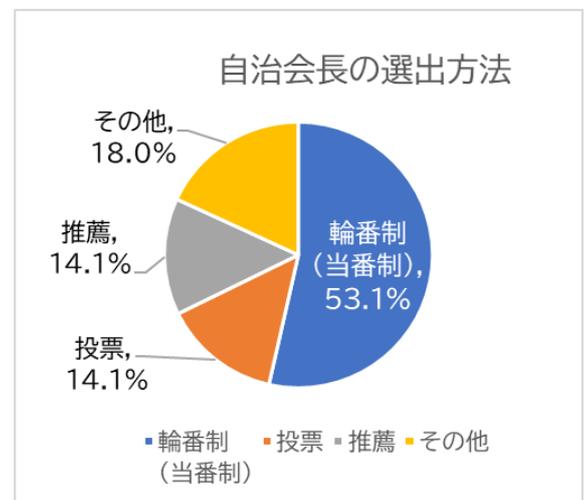
問11:自治会長の選出方法について

「輪番制(当番制)」の割合が最も高く53.1%でした。

	輪番制(当番制)	投票	推薦	その他
回答数	68	18	18	23
割合	53.1%	14.1%	14.1%	18.0%

(その他の選出方法)

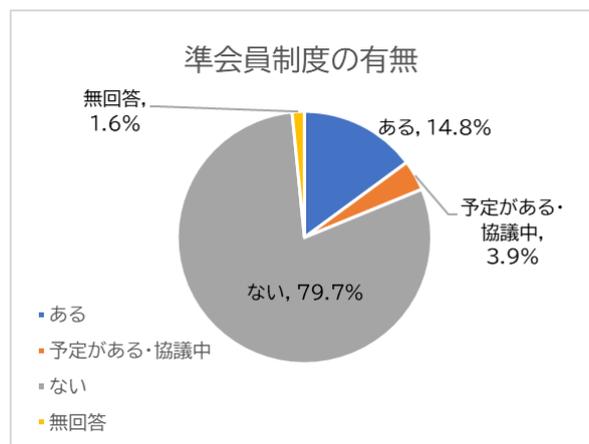
- ・輪番制で選出後、投票で決定。
- ・現自治会長が推薦で選出後、投票で決定。
- ・年齢順選出。
- ・未経験者から選出。
- ・60歳以上の会員から選任会議を実施。
- ・できる方をお願いする。
- ・対象者で話し合い。
- ・くじ引き。



問12: 準会員(議決権がない会員や企業会員)の制度の有無

準会員の制度を設けている自治会は14.8%でした。

	ある	予定がある 協議中	ない	無回答
回答数	19	5	102	2
割合	14.8%	3.9%	79.7%	1.6%

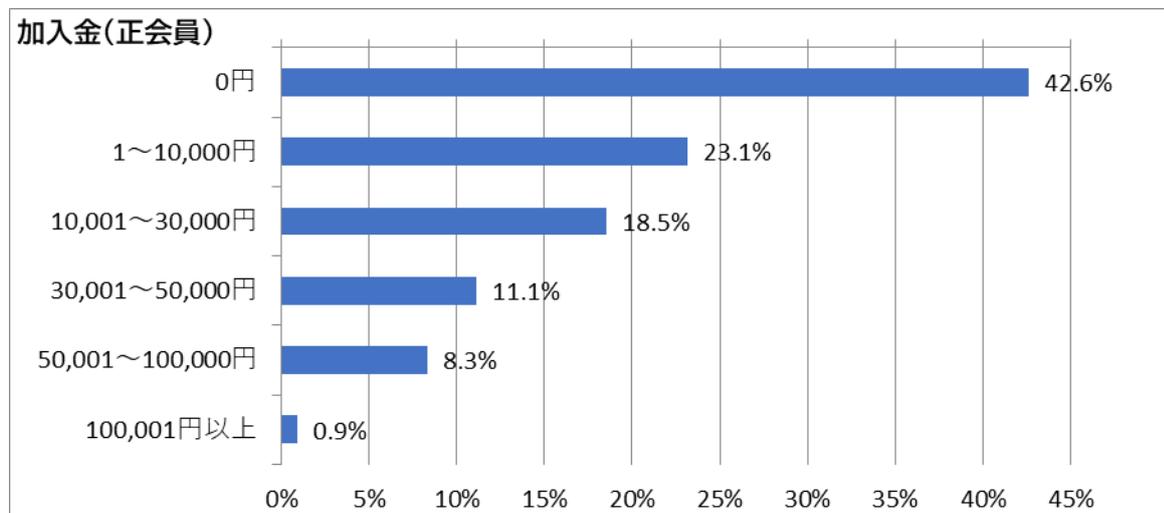


問13: 自治会加入等に係る金額

加入金は「なし」の割合が42.6%で最も高く、年会費は「5,001～10,000円」の割合が55.4%で最も高くなっています。

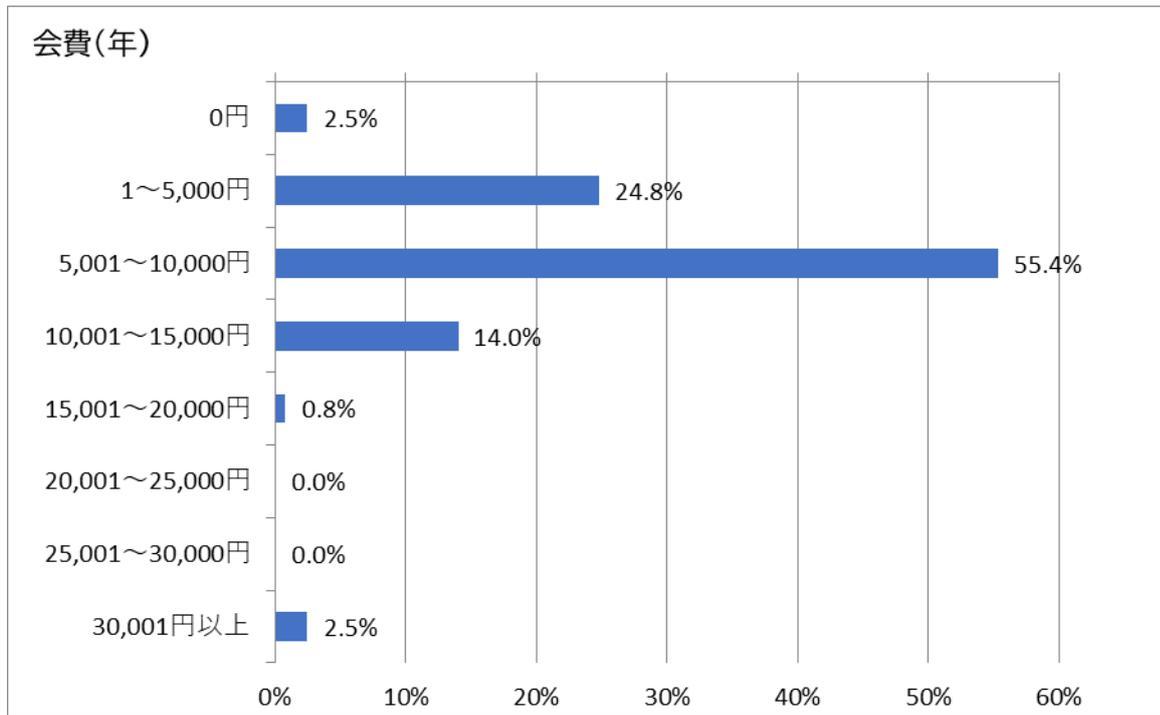
<加入金>

	0円	1～ 10,000円	10,001～ 30,000円	30,001～ 50,000円	50,001～ 100,000円	100,001円 以上
回答数	46	25	20	12	9	1
割合	42.6%	23.1%	18.5%	11.1%	8.3%	0.9%



<年会費>

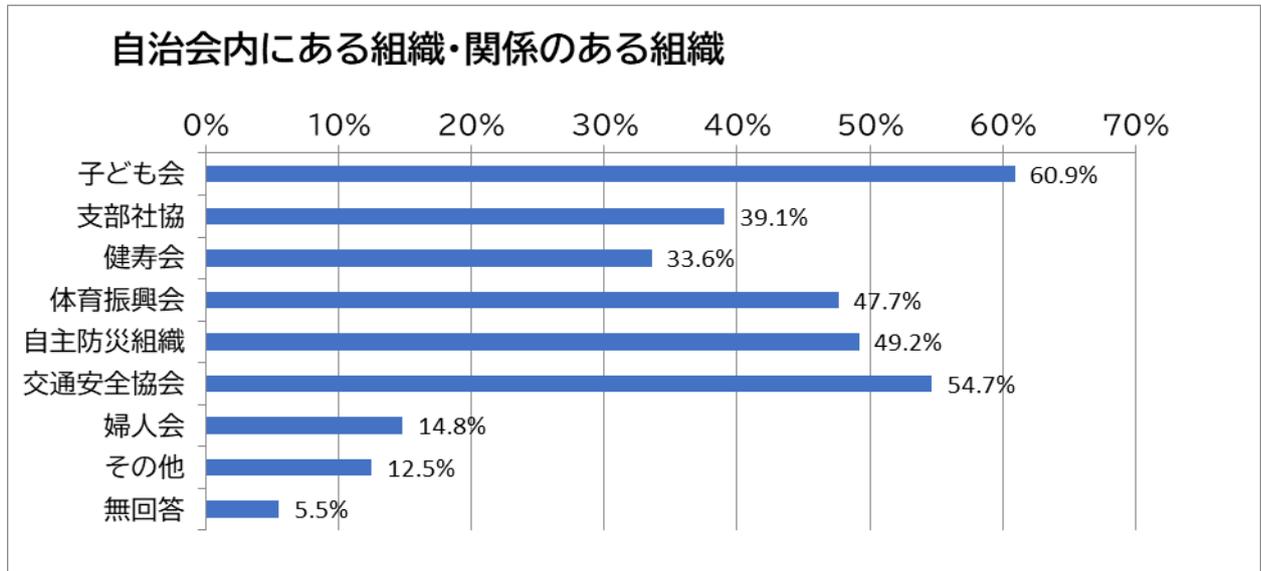
金額	0円	1～ 5,000円	5,001～ 10,000円	10,001～ 15,000円	15,001～ 20,000円	20,001～ 25,000円	25,001～ 30,000円	30,001円 以上
回答数	3	30	67	17	1	0	0	3
割合	2.5%	24.8%	55.4%	14.0%	0.8%	0.0%	0.0%	2.5%



問14:自治会内の組織及び関係組織(複数回答可)

自治会内の組織及び関係組織については、以下のとおり回答がありました。

	子ども会	支部社協	健寿会	体育振興会	自主防災組織	交通安全協会	婦人会	その他	無回答
回答数	78	50	43	61	63	70	19	16	7
割合	60.9%	39.1%	33.6%	47.7%	49.2%	54.7%	14.8%	12.5%	5.5%



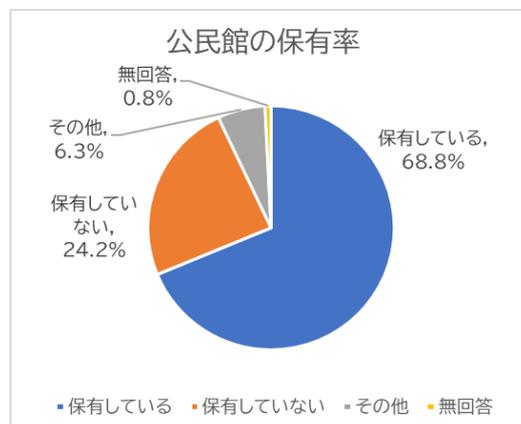
問15:公民館の有無

公民館の有無については、以下のとおり回答がありました。

	保有している	保有していない	その他	無回答
回答数	88	31	8	1
割合	68.8%	24.2%	6.3%	0.8%

(その他)

- ・複数自治会で共同保有。
- ・班ごとに保有しており、保有していない班もある。



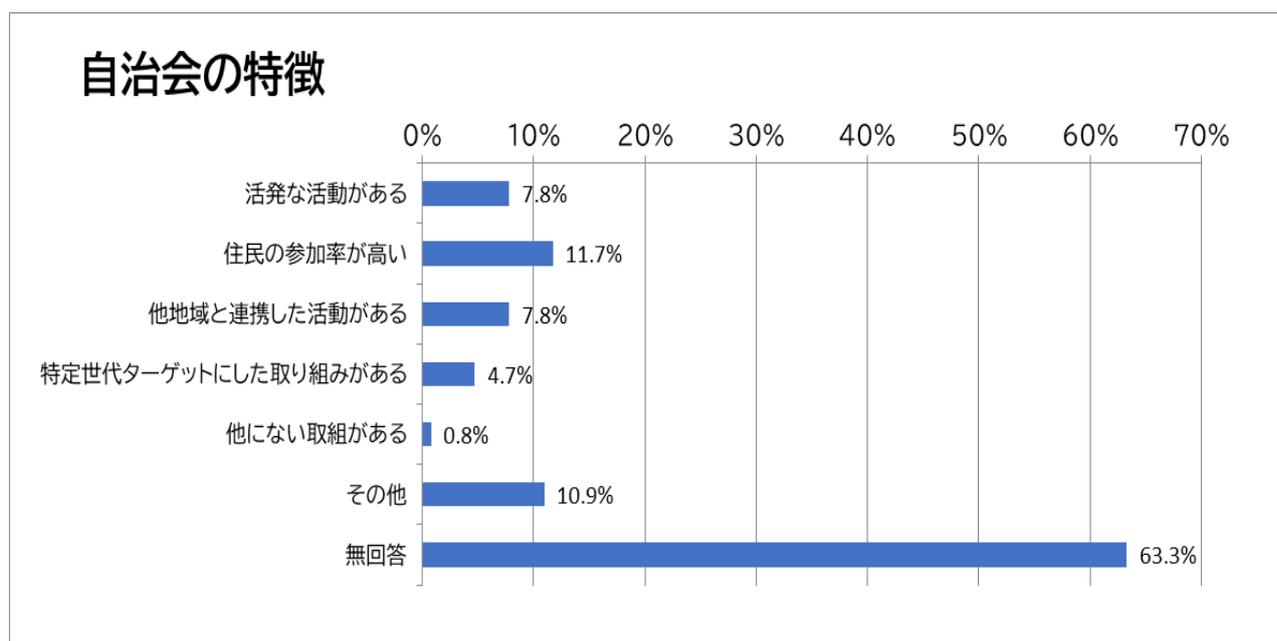
問16:自治会の行事について

この設問の回答については、自治会カルテにおいて記載させていただきます。

問17:自治会の特徴について

自治会の特徴については、以下のとおり回答がありました。

全体	活発な活動がある	住民の参加率が高い	他地域と連携した活動がある	特定世代をターゲットにした取り組みがある	他にない取組がある	その他	無回答
回答数	10	15	10	6	1	14	81
割合	7.8%	11.7%	7.8%	4.7%	0.8%	10.9%	63.3%



(「活発な活動がある」回答の詳細)

- ・お祭り
- ・ウォークラリー
- ・独居老人見守り活動
- ・ボランティア活動(体操、サロン、カフェなど)

(「住民の参加率が高い」回答の詳細)

- ・会合出席率が9割以上
- ・清掃活動の参加率が高い
- ・協力する意識が高い

(「他地域と連携した活動がある」回答の詳細)

- ・他自治会と連携したお祭り
- ・神社行事
- ・地域の清掃活動
- ・他自治会役員間の情報交換

(「特定の世帯をターゲットにした取組」回答の詳細)

- ・子ども神輿

(「他にはない取組がある」回答の詳細)

- ・防災倉庫のリニューアル

(その他の特徴)

- ・役員に過度な負担を求めず、ゆるやかなつながりがある。
- ・外国人世帯が多い。
- ・班ごとに昔からの風習による行事がある。
- ・自治会加入率が約9割。新入会員が2年間で20件程度増加した。
- ・神社関係の行事が多い。
- ・小さな自治会で、昔から住んでいる人が多いので、揉めごとがない。
- ・健寿会がクリーンパートナーに登録し、公園の清掃に自治会長と子ども会が参加している。

問18:未加入者の声かけは誰が行っているか

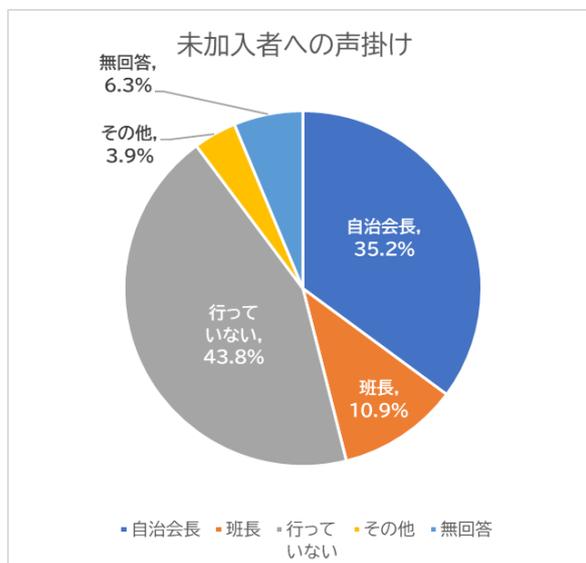
未加入者への声掛けについては、以下のとおり、回答がありました。

声かけについては「行っていない」との回答が最も多く43.8%となっています。

全体	自治会長	班長	行っていない	その他	無回答
回答数	45	14	56	5	8
割合	35.2%	10.9%	43.8%	3.9%	6.3%

(その他)

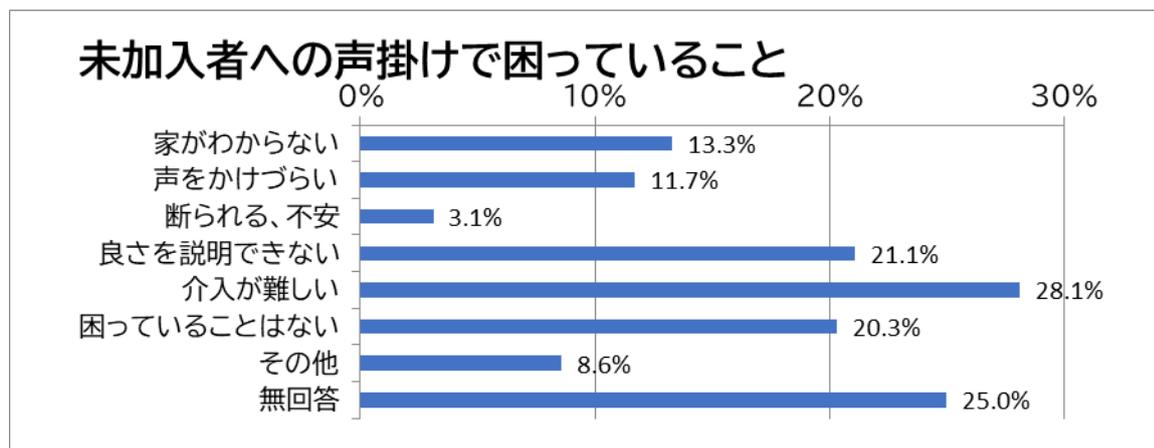
- ・自治会長と班長
- ・自治会長と副会長
- ・未加入者はいない



問19:未加入者へ声かけで困っていること

未加入者への声かけで困っていることとしては、以下のとおり回答がありました。

全体	家がわからない	声をかけづらい	断られる不安	良さを説明できない	介入が難しい	困っていることはない	その他	無回答
回答数	17	15	4	27	36	26	11	32
割合	13.3%	11.7%	3.1%	21.1%	28.1%	20.3%	8.6%	25.0%



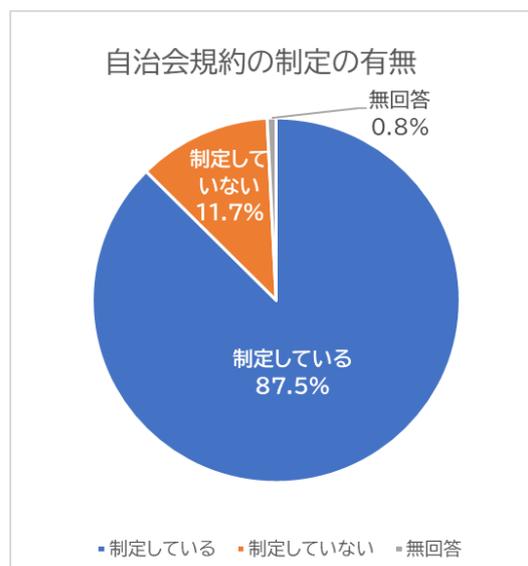
(その他)

- ・外国人の方に言葉が通じない。
- ・転入の情報がわからない。
- ・マンションは出入りが激しい。
- ・声掛けをしても反応がない。
- ・自治会加入の必要性を理解してもらえない。
- ・声掛けをしても反応がなかったり、断られてしまう。
- ・入会金が高い。
- ・未加入者はいない。

問20:自治会規約の制定の有無

自治会規約を制定している自治会の割合は87.5%でした。

	制定している	制定していない	無回答
回答数	112	15	1
割合	87.5%	11.7%	0.8%



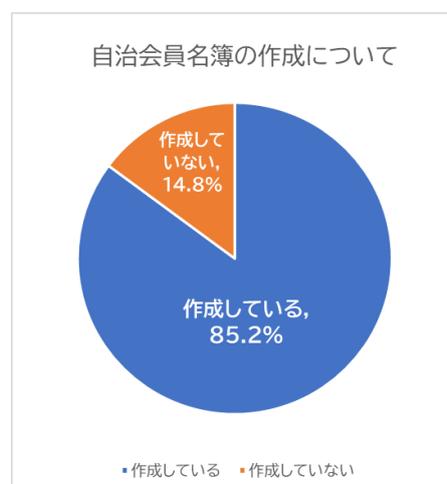
※自治会規約(会則)の整備のお願い

市で加入している自治会活動保険は、自治会活動による事故等に対し補償するものです。そのため、自治会規約(会則)の目的に活動内容を載せることで、自治会で承認された活動と考えられ、保険適用の幅が広がりますので、自治会規約(会則)の整備をお願いします。

問21:自治会員名簿について

自治会会員名簿を作成していると回答した自治会の割合については、85.2%でした。

全体	作成している	作成していない	無回答
回答数	109	19	0
割合	85.2%	14.8%	0.0%



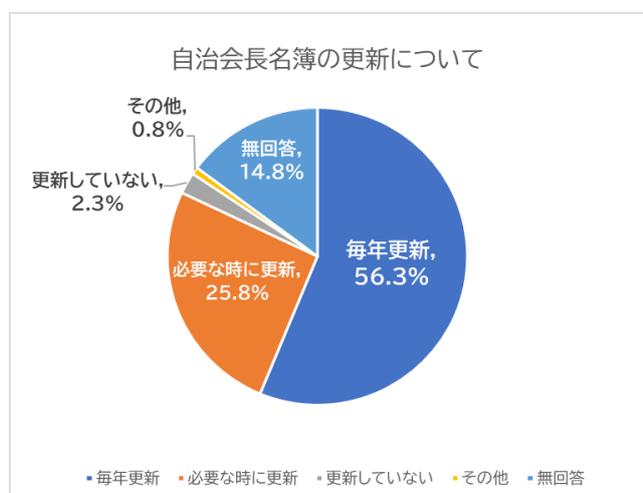
問22:自治会員名簿の更新の頻度について

自治会会員名簿毎年更新していると自治会の割合については、56.3%でした。

全体	毎年更新	必要な時に更新	更新していない	その他	無回答
回答数	72	33	3	1	19
割合	56.3%	25.8%	2.3%	0.8%	14.8%

(その他)

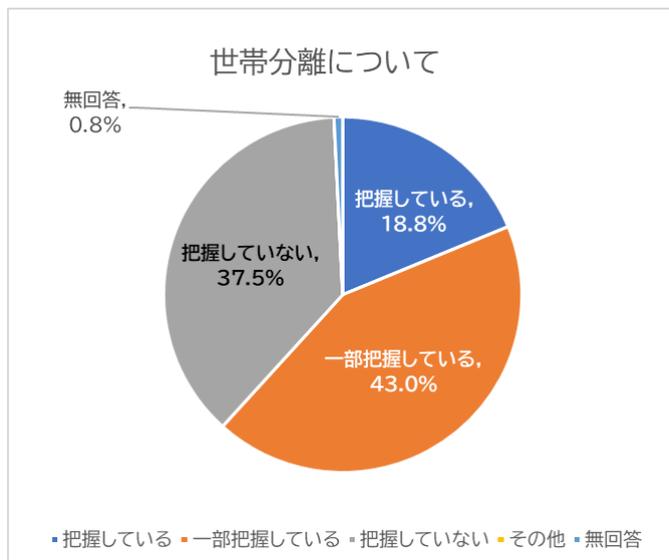
・5年に一度。



問23:世帯分離について

加入世帯の世帯分離について把握していると回答した自治会の割合については、18.8%でした。

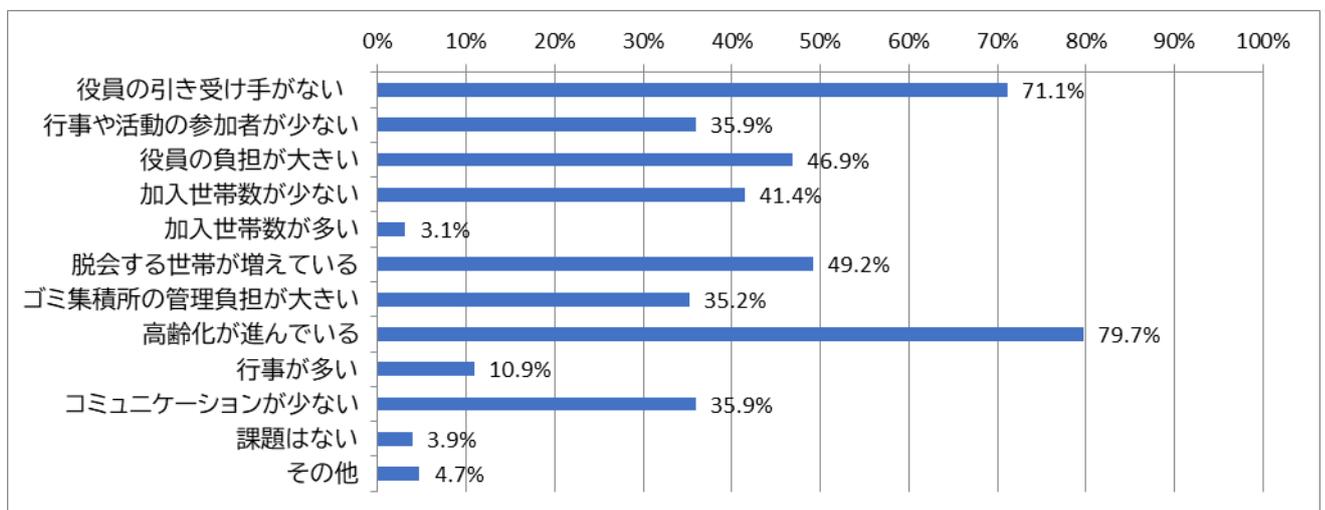
全体	把握している	一部把握している	把握していない	その他	無回答
回答数	24	55	48	0	1
割合	18.8%	43.0%	37.5%	0.0%	0.8%



問24: 現在、貴自治会で問題となっていることはどんなことですか。(複数回答可)

「高齢化が進んでいる」の割合が79.7%と最も高く、次いで「役員の引き受け手がない」が71.1%、「脱会する世帯が増えている」が49.2%となっています。

	役員の引き受け手がない	行事や活動の参加者が少ない	役員の負担が大きい	加入世帯数が少ない	加入世帯数が多い	脱会する世帯が増えている	ゴミ集積所の管理負担が大きい	高齢化が進んでいる	行事が多い	コミュニケーションが少ない	課題はない	その他
回答数	91	46	60	53	4	63	45	102	14	46	5	6
割合	71.1%	35.9%	46.9%	41.4%	3.1%	49.2%	35.2%	79.7%	10.9%	35.9%	3.9%	4.7%



(1) 役員の引き受け手がないと回答した理由(複数回答可)

理由	人が少ない	高齢化	負担が大きい	その他
回答数	41	67	55	7
割合	45.1%	73.6%	60.4%	7.7%

(その他理由)

- ・役員選出のしくみがない。
- ・外国人が多い。
- ・人の出入りが多い。

役員の引き受け手がない役員の種類(複数回答可)

役員名	自治会長	体育委員	福祉委員	その他
回答数	62	41	34	28
割合	68.1%	45.1%	37.4%	30.8%

(その他の役員)

- ・副自治会長
- ・会計 (2件)
- ・交通安全委員 (3件)
- ・消防団員 (7件)
- ・民生委員 (12件)
- ・氏子総代 (3件)
- ・班長 (2件)
- ・ほとんどの役員 (2件)

(2)行事や活動の参加者が少ないと回答した理由(複数回答可)

理由	人が少ない	活動がマンネリ化している	行事が多い	その他
回答数	24	12	6	15
割合	52.2%	26.1%	13.0%	32.6%

(その他の理由)

- ・高齢化。
- ・マンション住民の不参加。
- ・地域活動に無関心な人が増加し、参加しないことに抵抗感がなくなっている。
- ・自治会行事や活動にメリットを感じる住民が少ない。
- ・ライフスタイルの変化や世代間ギャップによるもの。

(3)役員の負担が大きいと回答した理由(複数回答可)

理由	事務が多い	行事が多い	行政の依頼が多い	その他
回答数	45	29	36	6
割合	75.0%	48.3%	60.0%	10.0%

(その他の理由)

- ・ごみの処理の負担が大きい。
- ・掲示物の作成や掲示の負担が大きい。
- ・責任が重い。
- ・自治会活動で時間を取られてしまう。
- ・行事の開催日が日曜日が多く、サービス業の人にとっては収入減になる。
- ・役員年数が長い。

(4)加入世帯が少ないと回答した理由(複数回答可)

理由	世帯数が少ない	脱会世帯が多い	未加入世帯が多い	その他
回答数	26	28	20	3
割合	49.1%	52.8%	37.7%	5.7%

(その他の理由)

- ・転入者がいない。
- ・高齢化。

(5)加入世帯が多いと回答した理由(複数回答可)

理由	世帯数が多い	新築が多い	アパート・マンションが多い	その他
回答数	4	0	0	1
割合	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%

(その他の理由)

- ・この2年間で自治会員20名が40名に増えた。

(6)脱会する世帯が増えていると回答した理由(複数回答可)

理由	高齢者の脱会	若者の脱会	その他
回答数	42	30	11
割合	66.7%	47.6%	17.5%

(その他の理由)

- ・自治会の役員が回ってくる前に脱会される。(9件)
- ・メリットがない。

(7)ごみ集積所の管理負担が大きい

理由	利用者マナーの指導	集積所の清掃	集積所の維持管理	その他
回答数	24	22	27	10
割合	53.3%	48.9%	60.0%	22.2%

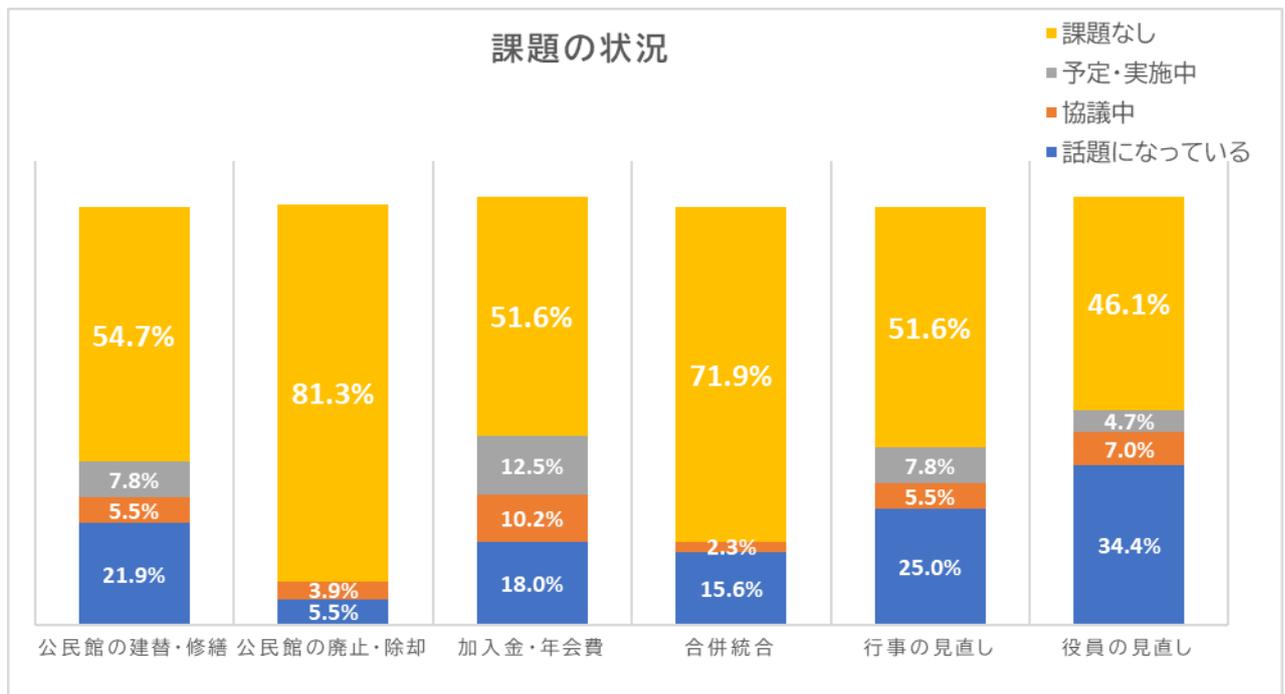
(その他の理由)

- ・不法投棄がある。
- ・他市町村の人がごみを捨てていく。
- ・自治会加入・未加入にかかわらず利用を可能としているが、住民相互のトラブルがある。
- ・ごみが集積所に収まりきらない。
- ・カラス対策。
- ・立ち当番の負担。
- ・環境課への連絡。
- ・未加入者のごみ代集金の負担。

問25:次の課題についての状況

「役員の見直し」について、話題やそれ以上の動きがある自治会が59自治会あり、6項目の中で一番件数が多い結果となりました。なお、それ以外の項目において、「課題なし」が過半数超となりました。

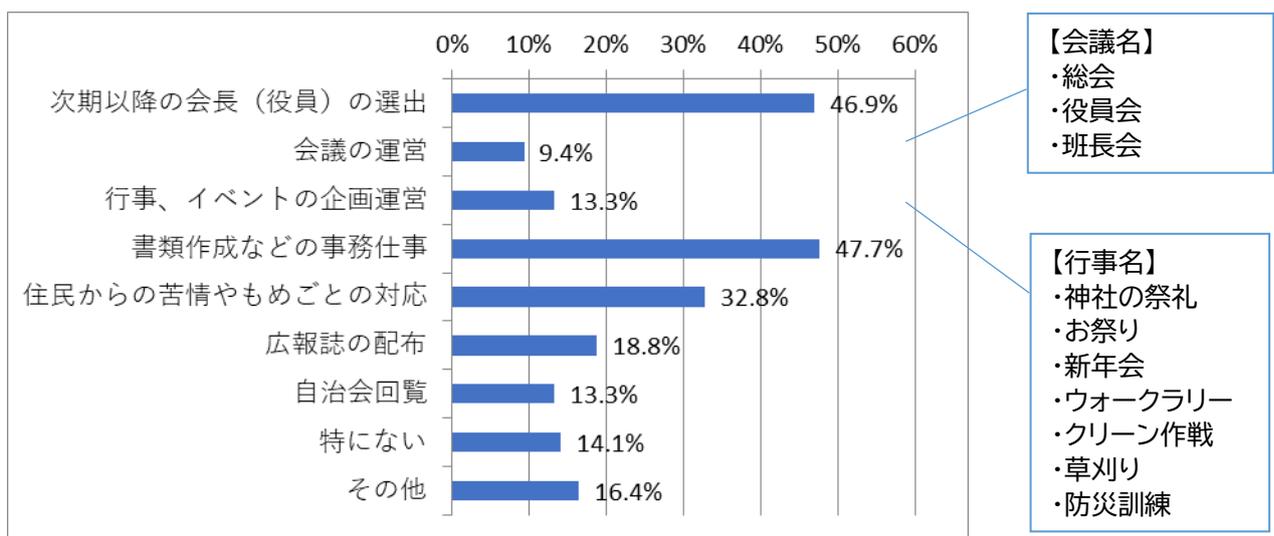
	(1)公民館の 建替・修繕	(2)公民館の 廃止・除却	(3)加入金・ 年会費	(4)合併統合	(5)行事の 見直し	(6)役員の見直し
話題になっている	28 21.9%	7 5.5%	23 18.0%	20 15.6%	32 25.0%	44 34.4%
協議中	7 5.5%	5 3.9%	13 10.2%	3 2.3%	7 5.5%	9 7.0%
予定・実施中	10 7.8%	0 0.0%	16 12.5%	0 0.0%	10 7.8%	6 4.7%
課題なし	70 54.7%	104 81.3%	66 51.6%	92 71.9%	66 51.6%	59 46.1%



問26:自治会長として苦勞したことや困ったことはどんなこと(複数回答可)

「書類作成などの事務仕事」が47.7%と最も高く、次いで「次期以降の会長(役員)の選出」が46.9%となりました。

	次期以降の会長(役員)の選出	会議の運営	行事、イベントの企画運営	書類作成などの事務仕事	住民からの苦情やもめごとの対応	広報誌の配布	自治会回覧	特にない	その他
回答数	60	12	17	61	42	24	17	18	21
割合	46.9%	9.4%	13.3%	47.7%	32.8%	18.8%	13.3%	14.1%	16.4%



(その他の内容)

- ・ごみの管理、不法投棄の対応。(11件)
- ・除草作業。
- ・訃報の対応。
- ・班数が多いため、広報誌の配付が大変。
- ・高齢の方が多く、昔からの慣習を変えるのが難しい。
- ・地元民ではないため、地元や自治会のことが分からない。

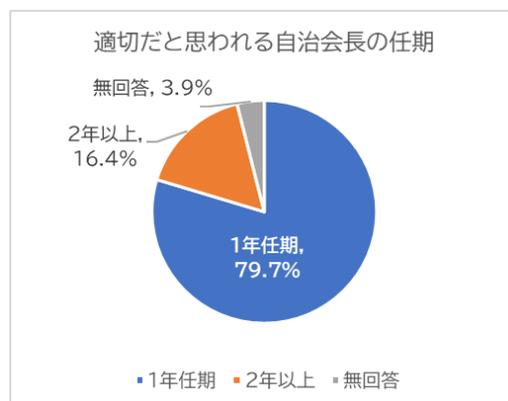
- ・仕事との両立が大変。
- ・自治会長の負担と作業量が多すぎる。

問27:適切だと思われる自治会長の任期及びその理由

「1年」が一番多く79.7%でした。

1年が適切だと考える理由としては、自治会長の負担が大きい、仕事との両立が困難という意見、また、多くの自治会員に平等に経験をしてほしいという意見などがありました。

	1年	1年以外	無回答
回答数	102	21	5
割合	79.7%	16.4%	3.9%



問27-2:1年以外の場合における適切だと考える年数

1年以外が適切だと回答された方では、「2年」が76.2%、「3年」が14.3%でした。

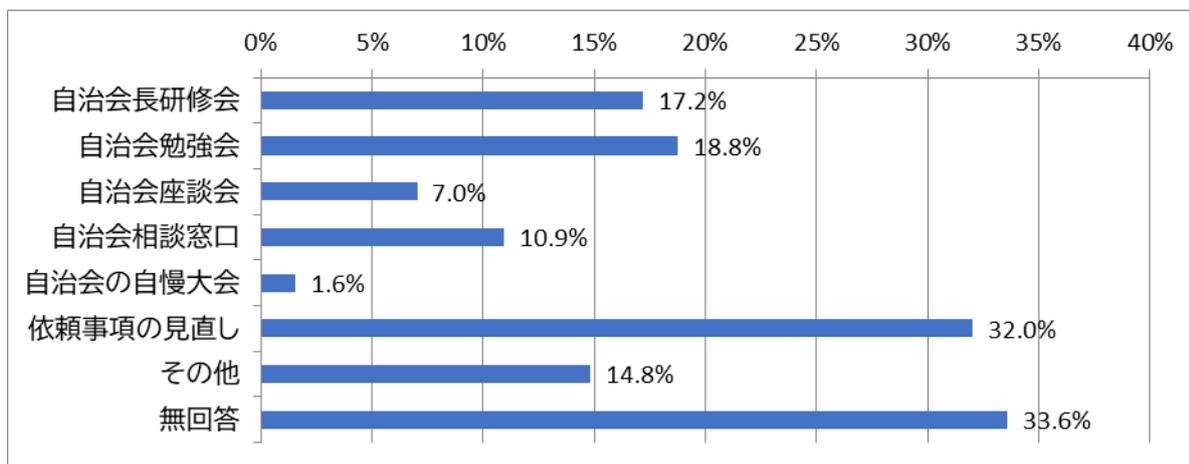
2年や3年が適切だと考える理由としては、1年間では何も理解できないまま交代となってしまう、改善が図れない等の意見がありました。

	2年	3年	4年	5年	無回答
回答数	16	3	0	1	1
割合	76.2%	14.3%	0.0%	4.8%	4.8%

問28:より力を入れてほしい自治会支援の取り組み

まちづくり課が行っている自治会支援の取り組みについて、今後力を入れてほしい取り組みについては、以下のような回答がありました。

	自治会長研修会	自治会勉強会	自治会座談会	自治会相談窓口	自治会の自慢大会	自治会の依頼事項の見直し	その他	無回答
回答数	22	24	9	14	2	41	19	43
割合	17.2%	18.8%	7.0%	10.9%	1.6%	32.0%	14.8%	33.6%



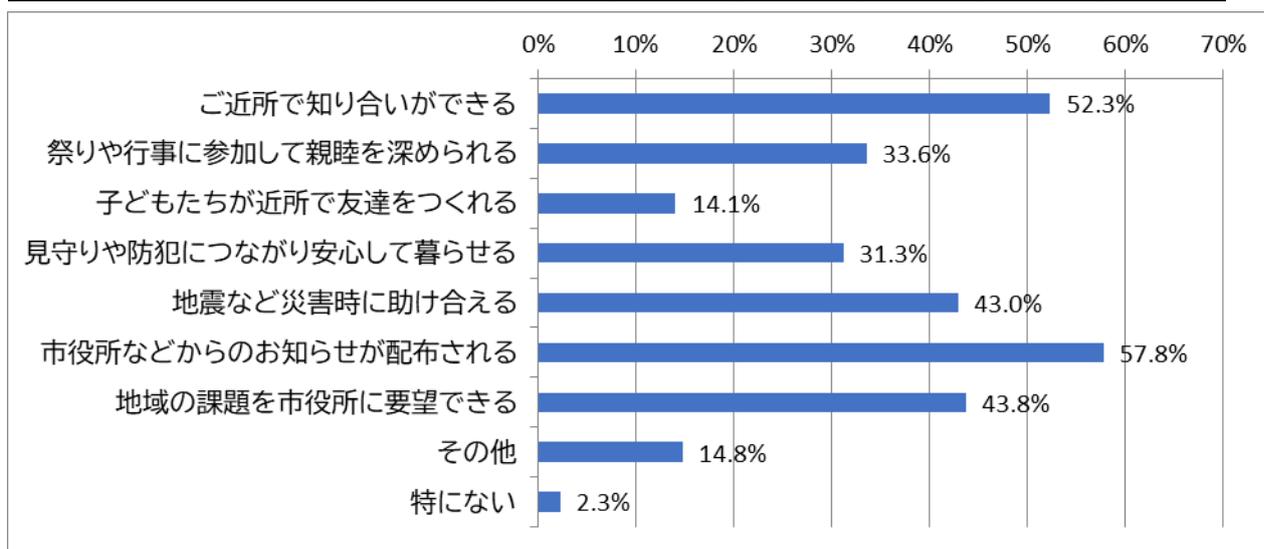
(その他の取り組み、要望等)

- ・自治会の負担軽減。
- ・自治会役員免除制度。
- ・未加入者のごみ出しマナー、ごみ集積所の管理。
- ・自治会員へのメリット提供(ごみ袋等の購入金額を安くする、住民税の軽減など)。
- ・自治会加入推進施策。チラシ、パンフレット、SNS などの広報支援、自治会 PR 活動。
- ・未加入者への加入促進や会員の脱会防止を目的とした活動。
- ・夜間の仕事従事者への対応(夜の会議等に参加できない)。
- ・草刈り、環境整備、獣害対策。
- ・広報配付は行政で対応してほしい。
- ・自治会交付金を増やしてほしい。
- ・簡易名簿作成のために自治会長が各家庭の人員構成を閲覧できるようにしてほしい。
- ・高齢化および過疎化への対応。
- ・各種委員選出・協力金については、事業主体が行うべきである。自治会に依頼するのであれば、依頼する理由の説明がほしい。
- ・活動開始前の2～3 月に自治会長への支援をしてほしい。開始前に前任者と引継ぎ、課題を理解した段階で先進事例等があるとよい。
- ・自治会長と一緒に活動していただき、アドバイスをしてもらいたい。
- ・研修等はオンデマンドを導入してほしい。
- ・自治会長研修は、その年度最初の顔合わせとコミュニケーションが図れるため、特に力を入れていただきたい。

問29:自治会のいいところについて

自治会のいいところについては、以下のような回答がありました。

全体	ご近所で知り合いができる	祭りや行事に参加して親睦を深められる	子どもたちが近所で友達をつくれる	見守りや防犯につながり安心して暮らせる	地震など災害時に助け合える	市役所などからのお知らせが配布される	地域の課題を市役所に要望できる	その他	特にない
回答数	67	43	18	40	55	74	56	19	3
割合	52.3%	33.6%	14.1%	31.3%	43.0%	57.8%	43.8%	14.8%	2.3%



(その他のいいところ)

- ・ごみの収集が近所でできること。
- ・小さなあいさつや会話でのつながりの継続が、暮らしやすさと安心・安全をつくる。

・知り合い、会話することによって、地域のことやその人の趣味のこと、生き方など、たくさんの学ぶべき情報が入ってくる。

問30:自治会長を務めて、「良かった」「うれしかった」と思った出来事を教えてください。

回答全体を通して最も多く挙げられたのは、「人とのつながりが広がった」「地域や自治会の実情を知ることができた」といった点でした。一方で、「負担が大きい」「良かったと感じることはない」といった意見も一定数見られ、自治会長の役割の重さがうかがえます。

【① 人とのつながり・交流の広がり】

- ・自治会員・班長・他自治会長・地域住民との交流が増えた。
- ・知らなかった人と知り合いになれた。
- ・定年後・転居後の地域参加のきっかけになった。
⇒多くの回答者が「最大の収穫」として挙げています。

【② 自治会・地域・行政への理解の深化】

- ・自治会の役割や年中行事、課題を把握できた。
- ・市の仕事や行政の仕組みが分かった。
- ・地域全体を俯瞰して見る視点が得られた。
⇒自治会長経験が「学びの機会」になっています。

【③ 感謝や評価を受けたことによる達成感】

- ・「ありがとう」「ご苦労さま」と声をかけられた。
- ・周囲から評価・労いを受けた。
- ・任期を無事に終えられた安堵感。

【④ 行事・防災・活動を通じた一体感】

- ・防災訓練や炊き出し訓練への参加。
- ・盆踊り、秋フェスタなど行事の成功。
- ・住民の協力が得られたこと。
- ・災害・事故なく一年を終えられたこと。

【⑤ 運営改善・役割遂行の手応え】

- ・業務のスリム化や改善ができた。
- ・役員間で知恵を出し合い形になった。
- ・多くの世帯をまとめ、運営できた。
- ・次期役員を引き受けてもらった。

【⑥ 負担感・否定的意見】

- ・「良かったことは特にない」という回答。
- ・ストレスや負担が大きい。
- ・現役世代には厳しい役割。
- ・自治会の存在意義を見直す必要性の指摘。
⇒今後の改善に重要な意見となります。

問31:自治会の活動について、負担に感じていること、改善したこと・したいこと、その他、自治会や地域に関すること(自由記述)

自由記述回答からは、自治会活動に対する多様な課題と意見が浮き彫りになりました。

最も多く挙げられたのは、「自治会役員のなり手不足」と「活動に伴う負担」です。高齢化や共働き世帯の増加により役員の確保が困難になり、残された役員の業務量が增大している現状が伺えます。特に、回覧板の配付、会議・行事の準備、パソコンを用いた書類作成などが大きな負担となっています。また引継ぎの不十分さや精神的負担などの意見もありました。

次に、「自治会未加入世帯の増加と、それによる不公平感」が顕著な課題として挙げられています。特にごみ集積所の利用を巡る問題が多く、加入者と未加入者の公平性を求める声や、市によるルール徹底・管理の要望も多くみられます。

また、「自治会加入率の低下」や「自治会の存在意義自体への問い直し」もみられます。

こうした課題に対し、自治会によっては、会費の減額や徴収方法の見直し、役員業務のスリム化、LINEなどデジタルツールを活用した情報伝達の改善、高齢者や体調不良者の役員免除制度化など、具体的な改善を進めている事例もあります。

負担に感じていること

【① 役員業務の負担】

- ・役員探し(なり手不足、高齢化、共働き世帯の負担)。
- ・役員の任期が短く、業務の引継ぎが不十分。
- ・自治会長の孤独感が強い、自身の時間や仕事を犠牲にしている。
- ・権限の不足と、長老などからの指示による業務増加。
- ・苦情や不満を持つ自治会員への対応による精神的ストレス。
- ・パソコンスキルが要求され、不慣れな人には負担に感じる。
- ・物事を決定する際の決議が取りにくい。
- ・自治会員の意見集約が困難。
- ・話し合いの場が不足し、場所の確保も難しい。
- ・自治会員の取りまとめが大変。
- ・自治会間の調整作業や役割分担。
- ・訃報対応など突発的な業務。
- ・消防団員の勧誘。

【② 情報伝達の負担】

- ・毎月の市報や回覧板の配付、作成。

【③ 行事・会議の負担】

- ・行事開催に伴う準備(日程管理、予算管理、設備・イベント手配、各団体への協力依頼など)。
- ・過去の実施状況が分かりにくく、その確認に時間と手間がかかる。
- ・総会の参加者が少なく、委任状の提出も少なかつたため成立せず、あらためて書面で行わなければならなかった。

【④ ごみ集積所に関する課題と不公平感】

- ・自治会未加入者のごみ出し(ルールが守られない、不公平)。
- ・ごみ集積所の管理(清掃・片付けが自治会に一任されている、不法投棄への対応)。
- ・ごみ集積所の場所確保の困難さ、市からの補助金の不足。

【⑤ 自治会加入率の低下と存在意義の問い直し】

- ・未加入世帯の増加
- ・脱会者の増加(特に役が回ってくると脱会する)
- ・コロナ禍での活動縮小が、負担軽減と同時にコミュニケーションの機会を減少させ、自治会の存在意義が希薄化してしまった。
- ・自治会に入るメリットが見出しにくく、入会を積極的に勧めることができない。

- ・加入世帯と未加入世帯が混在することで、自治会の有益な部分が薄れてしまう。
- ・他人に対して無関心になっている現代において、他者に何かしてあげようとする人間が果たしてどの程度の割合でいるのか。このような状況下では自治会そのものの存在意義が問われる。
- ・自治会加入が任意である限り、現状が良い方向に進むとは感じられない。

【⑥ 特定の組織・地域固有の課題】

- ・自治会主体で宗教行事を行うことに違和感を覚える。
- ・神社関係の祭礼行事が多い。

改善したこと・したいこと

【① 自治会費の見直し】

- ・年会費の減額。
- ・会費の一括徴収、班長宅での集金など徴収方法の高率化
- ・関係団体への募金及び協力金の一括納入から任意支払いに変更

【② 規約・制度の見直し】

- ・自治会規約の見直し
- ・高齢者や体調不良者の役員免除制度化
- ・役員任期の変更

【③ 役員業務の高率化】

- ・役員業務のスリム化
- ・引き継ぎ業務の文書化
- ・役員の負担軽減
- ・各役員の任期は1年のため、前年の役員が翌年の会議に参加するなど、引継ぎがスムーズに進む仕組みの構築

【④ コミュニケーション、情報伝達の改善】

- ・グループ LINE の活用
- ・自治会通信を作成し、参加者を増やす試み
- ・デジタルツールの活用

【⑤ 地域課題への取り組み】

- ・公民館の今後を考えるための全戸アンケート実施
- ・自治会全エリアの安全点検結果を検討し、要望書を提出
- ・防災倉庫のリニューアル
- ・ごみ集積所の利用方法の変更

行政への要望

【① 自治会活動への支援・負担軽減】

- ・自治会長の負担を減らしてほしい。
- ・役員を選出を自治会からの選出に委ねないでほしい。
- ・自治会座談会という困りごとを共有する場はあるが、解決する場がほしい。
- ・自治会に頼らずとも、住民サービスが円滑に行える方策について考えてほしい。
- ・自治会の規約変更を簡単にできるフォーマットを作してほしい。

【② 自治会加入促進】

- ・自治会加入の意義や利点を明確に示してほしい。
- ・自治会加入世帯と未加入世帯では、災害・緊急時の市の支援やごみ集積所の使用などについて差があることなどを具体的に示してほしい。
- ・未加入者向けの加入マニュアルや加入促進・脱会防止のアイデアがあれば教えてほしい。

【③ ごみ集積所に関する改善要望】

- ・ごみ集積所設置等補助金の条件を緩和し、年 1 回に限定せず 1 ヶ所につき補助を出してほしい。
- ・自治会にごみ集積所の管理を委ねるのであれば、未加入者へのルールを徹底してほしい。
- ・収集業者が回収しないごみの処理について、自治会が対応するのは不適切。業者と市が連携して対応できないか検討してほしい。
 - ・自治会によるごみ集積所管理の廃止、市での対応を要望する。
 - ・市の有料集積所の効果について疑問がある。

【④ 公共施設・インフラの管理修繕】

- ・地域の草刈り(水路、池、道路脇、通学路など)は市で対応してほしい。
- ・公園の遊具の修繕を対応してほしい。事故が発生した場合に自治会長の責任が問われることへの懸念がある。